

「覚」を書こう

覚

12画

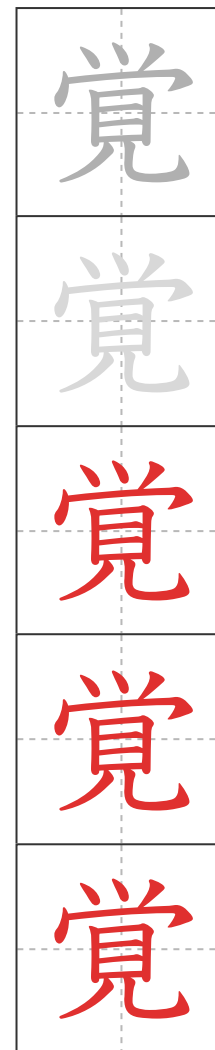
部首 見
(みる)音
カク

訓 おぼ (える)・さ (ます)・さ (める)

意味 おぼえる。また、目がさめる。

1

書き順をたしかめて、5回書こう。



2

言葉と例文を読もう。★の言葉をなぞって、書こう。

★覚える おぼ 「漢字を覚える。」

★自覚 じかく 「自覚をもつ。」

★目覚める めめ 「朝早く目覚める。」

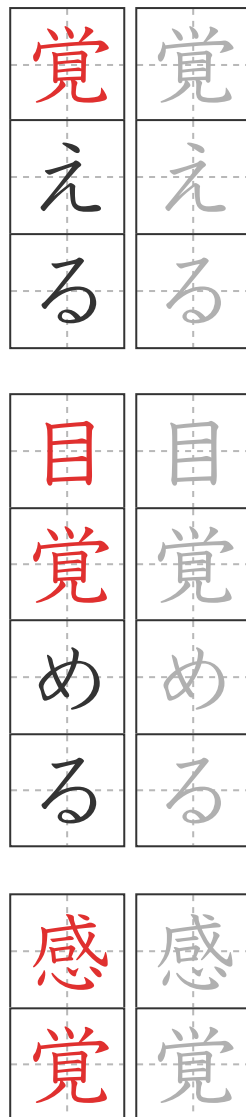
★目覚まし めめ 「目覚まし時計。」

★感覚 かんかく 「指の感覚。」

おぼえる

めざめる

かんかく



3

「覚」を使って、文を作ろう。

目覚まし時計の音で起きた。

おうちの方へ

- 「覚」は12画。書き順の図の青い線は「いま書く画」、●は書きはじめ。3の文は一例です。
- 読みは、文部科学省「音訓の小・中・高等学校段階別割り振り表」で小学校に割り振られた音訓です。